

科目名	心理学	科目分類	■基礎教育科目 □専門教育科目
			□卒業必修 □栄養士必修 ■選択
		開講年次	□1年 ■2年
英文表記	Psychology	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中
ふりがな	たきざわ じゅん	授業形態・修得単位	講義・2単位
担当教員名	瀧澤 純	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用
		実務家教員担当科目	
授業のテーマ	物の見え方のような基礎的な心理学から、心の健康のような応用的な心理学までを学ぶ。		
授業概要	人の心や生活に対して、科学的な見方を養う。講義を中心に行うが、他者との意見の共有、グループワーク、心理学の実験や調査の体験を行うことがある。		
到達目標	[知識] 心理学の基礎的・応用的な知識を身につけ、自分や他者を深く理解できるようになる。 [態度] 人の心や体の問題に興味をもち、対人コミュニケーションを積極的に行う。		
授業時間外の学習	授業計画に書かれた用語について予習し（1.5 時間程度）、毎回の復習を行うこと（1.5 時間程度）。メディアで見聞きした心理学の情報、自身が感じた心理学の疑問についてメモすること（0.5 時間程度）。		
履修条件	特にない。		
授業計画			
第1回	心理学とは：心理ゲームや心理占いとの違い、心理学のイメージ、心理学の種類		
第2回	コミュニケーション① 恋愛と友情の初期：メラビアンの法則、好意の原則、聴くスキル①		
第3回	コミュニケーション② 恋愛と友情の中期・後期：告白、失恋、人間関係の深まり、反射		
第4回	コミュニケーション③ ノンバーバルコミュニケーション：ハンドサイン、パーソナルスペース、聴くスキル②		
第5回	言語心理学：1 歳までの発声の発達、第二言語の習得、地域方言と社会方言、方言のイメージ		
第6回	知覚心理学：五感、錯覚、盲点、主観的輪郭、多義図形、現代人と味覚		
第7回	色彩と芸術の心理学：味覚と色の関係、赤色の効果、創造力、BGM の効果		
第8回	認知心理学：記憶術、目撃証言と記憶、事後情報効果、認知的インタビュー		
第9回	犯罪心理学：嘘発見器、嘘は体のどこに表れるか、サイコパス、洗脳とマインドコントロール		
第10回	オカルトと心理学：夢分析（フロイト派、ユング派）、超能力、2011 年に発表された Bem の論文		
第11回	性格心理学：性格検査と自己分析、血液型と性格、ブラッドタイプハラスメント		
第12回	臨床心理学：精神障害の種類、アセスメント、カウンセリング、心理療法		
第13回	学習心理学：古典的条件付け、パブロフの犬、道具的条件付け、観察学習、やる気、欲求		
第14回	健康心理学① ストレス：ストレスの分類、ストレスの強度、認知的評価モデル、コーピング		
第15回	健康心理学② 寿命、脳トレ、気分の落ち込み：人づきあい、気分の落ち込みに効く栄養素		
第16回	定期試験		
テキスト	村上香奈・山崎浩一（編）『子どもを支援する教育の心理学』ミネルヴァ書房（2021） これに加えて、授業中に資料を配布する。		
参考文献・資料	重野 純（編）『キーワードコレクション心理学 改訂版』新曜社（2012）		
成績評価の方法	授業態度を 10%、毎回の提出用プリントを 30%、定期試験を 60%として評価する。出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。		
成績評価基準	秀(100～90 点)、優(89～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下)		
オフィスアワー	1 年生：火曜日 10:40～12:10 2 年生：金曜日 10:40～12:10		
受講生に望むこと・受講のルール	受講者には積極的な参加を求めます。授業の計画および授業の内容は状況に応じて変更する場合があります。		